

私たちの地域の40年後のあるべき姿とは？

①環境	自然	三和地区	稲部地区	神田地区
		現状の自然が残っていて欲しい		自然は今のように残って欲しい
		笹尾東地区	城山地区	
		自然残っていてほしい	自然が残っているまちに	
		清き水だけは絶体？安心量であること	緑豊かな町	
	ちようど良い	三和地区	稲部地区	神田地区
		笹尾東地区	城山地区	
	コンパクト	三和地区	稲部地区	神田地区
笹尾東地区		城山地区		

②交通	三和地区	稲部地区	神田地区
	公共交通機関の充実	街に買い物弱者をなくすアクセス	車がなくても移動できるようにしてほしい
		高齢化、買い物、医療へのアクセス	コミュニティバス、乗り合いタクシー利用
		買い物難民→公共交通の充実	
		高齢者の移動が楽になる交通手段	
	笹尾東地区	城山地区	
	車を安全運転できる車社会問題点	新交通システムのできたまちに	公共交通の充実
	交通機関の発達	車などによらず移動できるように	行きたいところに自由に行けるように
	空とぶ車で通勤	技術が進歩しても目で見たい買い物をしたい	アシストカーの往来
	交通が便利になり 行動する範囲が広がる	車がなくても移動がしやすい。コミュニティバスの充実	
	町内の移動にデンキ自動車が自由につかえる	自家用車は必要なくなる	
	空とぶ車、IT、住宅地であってほしい、ドローン	自動運転でどこへでも(自家用車ではなく乗り合いバスなどで)	

③子ども、子育て	三和地区	稲部地区	神田地区
		今と変わらず子育てしやすい町と言われる	子どもが減らないよう住宅が少しずつ建てられるように
		今と変わらず子育てしやすい町と言われる	子どもたちに自分たちが住んでいる所を好きになってもらう
		喜ばれる出産と安心安全な子育てができる東員町	東員で生まれ育ち暮らす→スパイラル
	笹尾東地区	城山地区	
		若者が育って明るい街づくりを	
	子どもが戻ってこれるまち	子どもが自分もこの町に住みたいと思えるまち	
		子どもが定住できる環境	

私たちの地域の40年後のあるべき姿とは？

④安全、安心	三和地区	稲部地区	神田地区
	自然災害に強い地域	災害時の避難対策(高齢者、車、場所)	
	笹尾東地区	城山地区	

⑤商業	三和地区	稲部地区	神田地区
	笹尾東地区	城山地区	
		もっとたくさん店が欲しい	

⑥コミュニティ	三和地区	稲部地区	神田地区
		地域の助け合い施策、自治会との協働	世代、文化(外国人)をこえたつながりがある
		若者が育ち弱者と協働できる町	高齢化が進んでいても人口が少なくも隣近所で助け合いができる町
		顔の見える関係が全世代に深まる	高齢化に向けて集まれる場所を増やす
		一人ぼっちの老人はいない	お年寄りから子どもまで集まれる場があるといい
		地域として存続できるのか不安	やれることは自分たちでやる。(自治会の活用)
	笹尾東地区	城山地区	
	外国人とうまく共生していく社会	自治会運営が弱者のにとって住みよい町づくりを願う	地域が大きな家族になれるような
	地域コミュニティが維持 密になっている	自助、互助の自治会活動を望む	困りごとを近所の人に相談できる関係性
	男子も女子も高齢でも、動ける人は近所さんを助ける 家事援助	高齢者が集まれる場所作り	地域コミュニティが発達して、隣人付き合いが多くなる

⑦行政	三和地区	稲部地区	神田地区
		思いやりのある町民目線での行政	
		行政サービスの質が今と変わらない	
	笹尾東地区	城山地区	
	行政の広域化	身近な行政になる様に努めて欲しい	公助があって自助、共助ができる
		二世帯住宅を建てる(補助金を出す)	町民税など税金が安くなって明るい東員町
		町が色々な面で支援をする(子育てなど)	合併している
		電話が町と直結している	

私たちの地域の40年後のあるべき姿とは？

⑧施設	三和地区	稲部地区	神田地区
		スポーツ施設の充実 校庭がドーム	小中学校の利便さと充実
	笹尾東地区	城山地区	
	学校の再利用ができれば良い(介護施設等)	町外の方々が気軽に寄れる施設を(道の駅など)	「いきいき老人施設」を地域内に
		現在の集会所では小さい	サッカー場の芝生化

⑨教育	三和地区	稲部地区	神田地区
		子どもが楽しく学ぶことができる	
		子ども達が学ぶ場所がたくさんある	
		小中高までの一貫教育	
	笹尾東地区	城山地区	
	人材育成に力を入れる(教育に力を入れる)		

⑩人	三和地区	稲部地区	神田地区
	若者が増え元気な町。若い世代が多くいる		若手リーダーの輩出
	今以上の人口、世帯がある地区であって欲しい		
	笹尾東地区	城山地区	
	人口が激減しているだろう	若い人に住んでいただいて子どもたちが賑わう町にしたい	
	100歳～110歳の老人がいっぱい		

⑪歴史	三和地区	稲部地区	神田地区
			石取祭など、お祭の継続
			歴史、文化を守っていく
	笹尾東地区	城山地区	

⑫催し	三和地区	稲部地区	神田地区
	笹尾東地区	城山地区	

私たちの地域の40年後のあるべき姿とは？

⑬文化	三和地区	稲部地区	神田地区
		伝統行事、文化の継続	
	笹尾東地区	城山地区	
		無形文化財をいつまでも残したいまちである	城山祭、どんと焼きを続けて欲しい

⑭仕事	三和地区	稲部地区	神田地区
		若い人が住みやすい町、企業が多	
		シェアルーム、シェアワークの普及	
		高齢者の働ける場所がある町	
	笹尾東地区	城山地区	
	就職できる企業がある	働ける場所が多いと良い	

⑮農業	三和地区	稲部地区	神田地区
		農業の継続	田んぼを守ってくれる人がいる
		食糧の自給	
		豊かな自然が残っている田んぼ	
	笹尾東地区	城山地区	
	大豆工場(地場でなくてもよい)を東員町に作って商品開発する		

⑯医療	三和地区	稲部地区	神田地区
	大企業が進出している。大企業を誘致して若者が根付く	健康で生活できていること	スーパーと病院が残って欲しい
	大型の病院がある	今以上に高齢者が元気	
		遠隔医療、介護のAI化充実しないと人手不足となる	
	笹尾東地区	城山地区	
	総合病院が欲しい		
	看とり先生が東員町内に居て欲しい。(自宅療養出来るから)		

私たちの地域の40年後のあるべき姿とは？

⑰介護	三和地区	稲部地区	神田地区
	医療の点が自宅にいて療養できるよう	地域に宅老所	
	笹尾東地区	城山地区	
		福祉施設の充実した城山地区	
		介護サービスが充実し、尊厳ある終末を迎えられるように	

⑱その他	三和地区	稲部地区	神田地区	
		ボタン1つで行動が何でもできる	本気で人口増を町民総がかりで考える	
		遠くへ出て行かなくても自給自足	民泊の活用(空き家を利用)	
		環境の面で県の代表を目指す		
		空き家利用が進んで常に循環している街		
		地域単位で稼ぐことができる体制		
		子や孫たちが帰ってきて生活の場所があること		
		子ども達も孫たちも安心して暮らせる町		
		IT技術の進歩、AI		
		ドローン宅配		
		笹尾東地区	城山地区	
		電柱を無くし地下にする	生活の世帯バランスを保って欲しい	空き家をどうにかする仕組みができています
		高級住宅にしたい	特徴のある町を作る(花いっぱい)	買い物に行かなくても済むような宅配システムの完備
		IT家で仕事	住居のサイクル化	アサギマダラの飛来地となって有名になっている
		高齢化がますます進む 税金の減少	20年後ぐらいから土地の借り上げ事業起こせば住宅地として繁栄	緑地帯が「もみじ」の名所として名古屋など広域的に有名になる
		焼却炉の熱を何とか引っばって温水プールを作る	空き家を壊して施設を建ててみんながくらせるように	
		東員町の景色を生かして観光を考える	家の売買を町が実施し、空き家がない状態	
	ボタン1つでおとなりさんと連絡がとれる 気楽さ	自分の好きな生活(趣味など)ができる		
	空き家がなくなるとよい	いろいろな物件をネオポリス内のできるようになれば良い		